



校長通信

令和6年度 5号 令和6年5月8日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

ゴールデンウィークが終わり、昨日は、1学期中間テストの発表をしました。1年生にとっては初めての定期テストです。試験発表期間中は、部活動を中止し、学習に集中する期間です。学校では放課後、授業で学習した内容がわかりにくかったところを、教科担当教員に、質問して解決する時間を設けます。有効に利用してほしいと思います。



又、和歌山市から和歌山城ホールの会議室を自習室として開放する文書が届き、生徒を通して、配布していますが、週末にこのような施設を利用するのもいいと思います。いずれにせよ、生徒には、学習した内容をしっかり身に付けて、試験で自分の力を出してくれることを願っています。

《済南市中学生スタディツアー参加者募集中！》

和歌山市と友好都市提携を結んでいる中国・済南市から、和歌山市の中学生を済南市で受け入れ、済南市の学生と交流する機会をもちたいと提案がありました。現在、和歌山市教育委員会が、参加者を募集しています。詳しい内容は、お子様にプリントを配布するとともに、テトルにて案内を送付しています。募集期間は、5月24日までですが、今のところ、本校から参加を希望している生徒は少ない状況です。往復航空券、宿泊費など、済南市が負担してくれます。

わたしが県教育委員会で勤務していたとき、和歌山県内の中学生を2回、韓国に引率したことがあります。参加者は多くの事を学び、英語で現地の生徒と交流していました。当時の参加者は、もうすでに社会人になっていますが、県内外で活躍している人がたくさんいます。

今回の募集人数は20名で応募多数の場合、抽選とのことです。応募しても必ず参加できるとはかぎりませんが、積極的に応募されることをお勧めします。各家庭で検討してみてください。

《剣道八段審査に挑戦して来ました！》

5月某日、京都市で行われた剣道八段審査を受けて来ました。昨年に引き続き、2回目の挑戦でしたが、残念な結果となりました。今回、1,720人受審し、合格者は14人で、合格率0.8%でした。あらゆる試験の中で、剣道八段審査が、日本で一番難しい試験と言われるゆえんです。

結果はどうであれ、全国から集まった志を同じくする剣士と、竹刀を交えることができたことは、大変有意義なことだと思っています。また稽古に精進します。

剣道八段審査が、どのようなものか、今から約25年前にNHKが放送したドキュメンタリー番組「心で戦う120秒」をご覧になれば、よくわかると思います。もしもお時間があり、少しでも興味がある方は、ネットで「心で戦う120秒」と検索してみてください。ユーチューブでご覧になれます。